

決算書『読みこなし力』養成講座

～実際の決算書を使いながら、基本構造から経営指標の考え方まで習得します～

近年、決算書や会計の関連本がベストセラーになったり、話題の勉強法の多くには決算書の知識が取り上げられています。従来は財務や経理部門に所属する社員だけのものだった決算書に関する読みこなしスキルも、いまやそれ以外の部門の社員も避けては通れない必須のビジネススキルになりました。なぜなら、**決算書こそ株主、経営者、従業員、取引先、競合などが集うグローバル化、競争激化したビジネス世界での共通言語**だからです。その共通言語“決算書”の読みこなしスキルは、自社の経営計画、経営指標の理解や取引先の分析に使えるのはもちろんのこと、**ビジネスそのものを理解し、お仕事に取り組んでいく上で、強い味方**になってくれます。

本講座では、決算書の基本構造から実際の企業活動がどのように決算書に反映しているのか、また、各種経営指標の考え方や決算書との関係を実例を交えながら、楽しく分かりやすく解説します。ワークも充実。決算書初心者はもちろんのこと、決算書に詳しい方も目からウロコの講座です。



参考書籍：稼ぎ力養成講座 決算書読みこなし編

【受講対象者】	【期待できる効果】
<ul style="list-style-type: none">➤ 新入社員、若手社員の方➤ 決算書にあまり馴染みのない営業部門の方➤ 経営計画を立案される企画部門の方➤ 企業経営が理解でき、数字の裏を読む感覚が養えますので、管理職を展望する方に特にオススメです	<ul style="list-style-type: none">➤ ビジネス世界での共通言語、決算書の読みこなし力の習得➤ 決算書の基本構造、各種経営指標の見方、経営計画の分析手法➤ 決算書の構造を理解することで、企業活動やビジネスの仕組みが理解できるようになる➤ 数字情報へのアレルギーがなくなり、情報の分析力が身につく

【カリキュラム概要(6時間)】

<p>1. 決算書を読みこなして企業経営を理解する</p> <p>2. 貸借対照表の読み方</p> <p>1) 貸借対照表の左側は「資産」＝「お金の使い道」を表す</p> <p>2) 貸借対照表の右側は「負債と資本」＝「お金の出どころ」を表すなど</p> <p>3. 損益計算書の読み方</p> <p>1) 損益計算書には「利益がどうやって出てきたか」が載っている</p> <p>2) 損益計算書にあるいろいろな利益を見てみよう など</p> <p>4. キャッシュフロー計算書の読み方</p> <p>1) キャッシュフロー計算書には「現金の出入り」が載っている</p> <p>2) 営業CF、投資CF、財務CFの各ポイント など</p> <p>5. 決算書で経営分析をしてみる</p> <p>1) 分析に使う決算書の「7つの項目」とは</p> <p>2) 決算書から「7つの項目」を見つけよう</p> <p>3) 数字から何が読み取れるのか</p>	<p>6. 決算書から「収益性・安全性・成長性」を読み取る ～財務分析の8つの指標～</p> <p>1) 収益性を見る3つの指標 ①総資本利益率 ②自己資本利益率 ③売上高営業利益率</p> <p>2) 安全性を見る3つの指標 ①自己資本比率 ②負債比率 ③売上高営業CF比率</p> <p>3) 成長性を見る2つの指標 ①売上高伸び率 ②営業利益伸び率</p> <p>4) 8つの指標で同業種を比較してみよう</p> <p>7.1 社の過去・現在・未来を分析してみよう</p> <p>1) 経営計画と決算書の関係</p> <p>2) 各経営計画の達成度を決算書でチェック</p> <p>3) これからどうなっていくのかを見通してみる</p> <p>研修効果を高めるために、講師の話をお聞いただけでなく、ワークや事例問題も数多く取り入れています。</p>
---	---

- ✓ ビジネスの仕組みの理解
- ✓ 企業活動の理解
- ✓ 情報分析力の強化
- ✓ 数字アレルギー克服



本講座で 御社社員様の **ビジネス基礎力を大いにアップ**できます

『決算書』はビジネス世界の共通言語

【使用テキスト抜粋】

IV. 損益計算書（プロフィット・アンド・ロス・ステートメント＝P/L）

1. 損益計算書ってなに？
 損益計算書は企業の1年間の成績表です。決算が3月の場合、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間の合計が、平成22年3月期決算の損益計算書にあたります。売上高や経常利益などの用語が出てきますが、わりとなじみのあるものだと思います。

2. 損益計算書の構造
 損益計算書の基本的な構造は次の通りです。

損益計算書例

科目名	意味
売上高(A)	商品や製品の販売高やサービスの提供高。
売上原価(B)	商品や製品の売上高に対応する仕入原価や製造原価。サービス収益については提供のために要した費用。
売上総利益(C=A-B)	売上高から売上原価を引いたもの。粗利（あり）ともいう。
販売費・一般管理費(D)	商品や製品の販売に要した販売費、および本社活動などに要した管理費。略して販管費（はんかんひ）ともいう。人件費もここ。
営業利益(E=C-D)	売上総利益から販売費・一般管理費を引いたもの。その会社の本業での儲けをあらわす。
営業外収益(F)	その会社の本業以外での儲け。受取利息など。
営業外費用(G)	その会社の本業以外で支払った費用。支払利息など。
経常利益(H=E+F-G)	営業利益に営業外収益を加えて、営業外費用を引いたもの。
特別利益(I)	土地、株式の売却などで臨時的に発生した利益。
特別損失(J)	土地、株式の売却などで臨時的に発生した損失。
税引前当期純利益(K=H+I-J)	経常利益に特別利益を加えて、特別損失を引いたもの。
法人税等(L)	会社が負担した法人税、住民税、事業税などの税金額。
税引後当期純利益(M=K-L)	その会社の最終的な儲けをあらわす利益額。

コピー・無断転用厳禁 8 株式会社エムエス研修企画

損益計算書の意味をもう少し分かりやすくするために絵で説明します。

【渋井真帆著：『新版 あなたを変える「稼ぎ力」養成講座 決算書読みこなし編』 P101より】

コピー・無断転用厳禁 11 株式会社エムエス研修企画

① 収益性を見る指標

I. 総資産利益率（ROA）

$$\text{総資産利益率（\%）} = \frac{\text{最終利益}}{\text{総資産}}$$

貸借対照表	
【資産】	【負債/純資産】
流動資産	流動負債
固定資産	固定負債
繰延資産	純資産（うち自己資本）
総資産	負債/純資産計

損益計算書	
売上高	
売上総利益	
営業利益	
経常利益	
当期純利益	

企業の収益力を測る代表的な指標です。収益力は「もうける力」のことです。保有する総資産（負債と純資産の合計と同額）を活用してどれだけ利益を上げたかを示す指標で、最終利益（税引後当期純利益）を総資産で割って算出します。英語ではリターン・オン・アセット（ROA）と言います。アセットとは資産のことです。この数値が高ければ高いほど企業は投下資金を有効に活用していることとなります。

同じ商品、例えば車を売っている会社で同じ金額の利益を上げている会社があったとします。A社は工場を10ヶ所持っていて1000億円のお金をかけているのに対して、B社は工場は3ヶ所で300億円しかお金をかけていません。どちらが効率がよく収益力があるかというところB社の方が収益力が高い、といえます。

また、C社は過去にたくさん本業以外の事業に乗り出して赤字を出していましたが、本業に集中するために本業以外の事業を売却して黒字になりました。つまり総資産を圧縮して、無駄な事業をやめ、効率的に利益を上げる体質に転換したのです。

たくさん資産を使って利益を上げるよりも、少ない資産で同じ利益を上げるほうが効率的といえます。また、資産をあまりたくさん持ちすぎると環境の変化に柔軟に対応しにくくなります。大きな象が向きを変えるのには時間がかかるのと一緒です。

コピー・無断転用厳禁 19 株式会社エムエス研修企画

II. 第2部のとまめ

① 収益性を見る指標

名前	計算式	意味	良い状態
総資産利益率（ROA）	税引後利益 / 総資産 (%)	儲ける力があるか	高いほうがいい
自己資本利益率（ROE）	税引後利益 / 自己資本 (%)	利益の分け前があるか	バランス感覚が大事
売上高営業利益率	営業利益 / 売上高 (%)	本業の収益力があるか	高いほうがいい

② 安全性を見る指標

名前	計算式	潰れない会社か	高いほうがいい
自己資本比率	自己資本 / 総資本 (%)	借金が少くないか	高いほうがいい
負債比率	有利子負債 / 自己資本 (倍)	借金が少くないか	低いほうがいい
売上高営業キャッシュフロー比率	営業キャッシュフロー / 売上高 (%)	キャッシュを稼ごう力があるか	高いほうがいい

③ 成長性を見る指標

名前	計算式	お客さんが増えているか	高いほうがいい
売上高伸び率	(当期売上高 - 前期売上高) / 前期売上高 (%)		
営業利益伸び率	(当期営業利益 - 前期営業利益) / 前期営業利益 (%)		

コピー・無断転用厳禁 28 株式会社エムエス研修企画

講座では実際の決算数字を使った指標の算出や、同業種での比較なども行います。